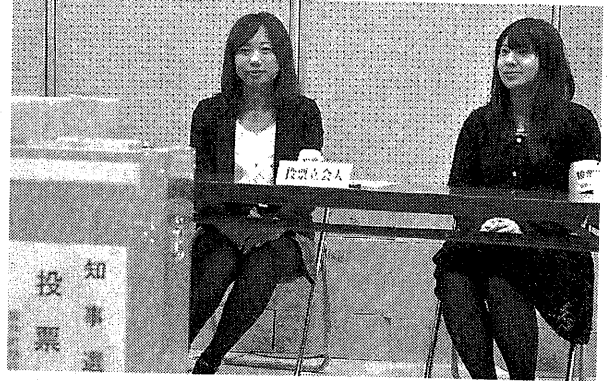


投票の立会人を務める「CEPT」の広部舞さん
(右)と高田明日香さん＝坂井市坂井町下新庄



若者よ 投票に行こう

大学生ら、立会人に

若い世代に選挙に対する関心を高めてもらおうと、若者の選挙啓発ボランティアグループ「県明るい選挙推進青年活動隊CEPT」のメンバー2人が26日、坂井市坂井町下新庄の市多目的研修集会施設で、知事選の期日前投票の立会人を務めた。

立会人を委嘱された2人はいずれも坂井市在住で、大学生の広部舞さん(23)と会社員の高田明日香さん(23)。「CEPT」は2005年に発足し、現在は平均年齢22歳の大学生らで構成。今回の統一地方選ではテレビやラジオのCMで投票を呼びかけているほか、県内のショッピングセンターでの啓発活動に参加する予定だという。

県選管によると、昨年の参院選の投票率は65・2%。うち20代前半の投票率はサンプル調査で39・7%だった。広部さんは「若い世代の投票率の低さに驚いた。自分たちの生活と関係する選挙に、少しでも関心を持ってほしい」と話していた。(小池寛木)

期日前投票

「私たちも」

坂井

若者啓発隊が立会人

若者に選挙への関心を持つてもらおうと、若者による選挙啓発ボランティアグループ「県明るい選挙推進青年活動隊CEPT」のメンバー2人が26日、坂井市坂井町下新庄の市多目的研修集会施設に開設された知事選の期日前投票所で立会人を務めた。

立会人の手順を日舞目で確認する高田明日香さん(右)と坂井市多目的研修集会施設で立会人を務める広部舞さん(左)＝坂井市坂井町下新庄



応に備えた。また「私越前、敦賀の三市で投票も期日前投票します」と話し、同年代の積極的な投票も呼び掛けた。

二十四日に告示された知事選を受け、同市内には四カ所の期日前投票所が設けられた。四月二日には、CEPTのメンバーが福井、

(清兼千鶴)



CEPT2人立会人を務める県明るい選挙推進青年活動隊(CEPT)のメンバー2人が26日、坂井市で知事選期日前投票の立会人を務めた。厳重な管理の下で行われている選挙事務などを肌で感じ、投票することの意義などをあらためて実感していた。

立会人を務めたのは、(中)高田さん(左)26日、坂井市多目的研修集会施設

井大4年の廣部舞さん

があるため期日前投票をすることにしており「投票日に行けない人はぜひ期日前投票を利用してほしい」と話していた。

2人とも投票日は仕事があるため期日前投票をすることにしており「投票日に行けない人はぜひ期日前投票を利用してほしい」と話していた。

(23)と、会社員高田明日香さん(23)「いずれも同市坂井町在住。2人は市多目的研修集会施設に設けた投票所で「投票立会人」の腕章を着け、まず厳格な準備作業に立ち会い、投票箱の鍵が入った封筒の開封などを確認した。

投票は午前8時半から午後8時までで、その間食事やトイレ休憩以外は投票所にとどまり、立会人の務めを果たした。